

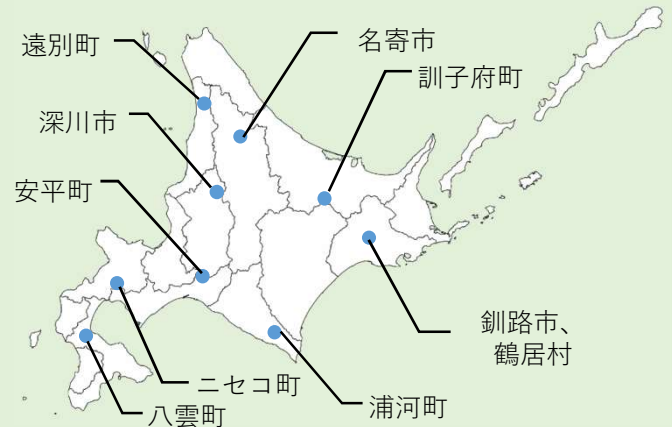
ICT活用型草地管理に関する現地研修会の開催について

本道の恵まれた飼料生産基盤を最大限に生かして、自給飼料に立脚した酪農・畜産経営を維持・発展させるためには、定期的な草地更新による牧草の品質向上と収量確保が不可欠です。しかし道内の酪農・畜産現場では労働力不足が問題になっているため、草地更新の労働負担軽減につながる技術として、ICTを活用した効率的・省力的な草地更新技術の実証事業を、令和元年度～3年度に全道6箇所で行いました。

実証の結果、実用可能な段階となったICT活用型草地管理技術の普及を目的として、令和4年度～5年度にかけて、生産者や酪農畜産関係者を対象に現地研修会を開催しました。

現地研修会は令和4年度に5カ所（釧路、上川、留萌、オホーツク、日高）令和5年度に4カ所（空知、渡島、後志、胆振）の計9カ所で行いました。

ICT活用牧草生産実証事業（令和元年度～令和3年度）の実施地域と合わせて全ての振興局で普及活動を実施しました。



現地研修会の開催地

研修会の主な内容

座学

○「ICTを活用した牧草生産に係る補助事業について」

ICT活用型草地管理に関する補助事業として、環境負荷軽減型持続的生産支援事業（エコ畜事業）や、ICT機器の導入等を支援する事業について、農林水産省北海道農政事務所から情報提供をしていただきました。

○「ICT活用牧草生産実証事業におけるドローンを活用した牧草地雑草検知及びピンポイント除草の取組について」

○「ICT活用牧草生産実証事業における牧草地の植生診断ならびに雑草検出、ピンポイント防除事例紹介」

ICT活用牧草生産実証事業（令和元年度～令和3年度）で実証した内容についてNTTコミュニケーションズ(株)と国際航業(株)から解説していただきました。ドローンや人工衛星を用いて草地の雑草を検出し、必要箇所のみピンポイントで草地更新する技術等について、仕組みや実証の結果を説明していただくとともに、現在活用できるサービスや今後の展望についてお話ししていただきました。



実演

○ドローンによる雑草検知

○産業用無人ヘリコプターによる除草剤散布 等

自動撮影アプリを使ってドローンが圃場内を自動で撮影する様子や、自動運転の産業用無人ヘリコプターで除草剤を散布する様子を現地で確認することで、どのような圃場で活用できるのか参考にすることができました。

